

歴史に憩う橿原市博物館 館報 1

平成 26 年度



2016 (平成 28) 年 2 月



## ごあいさつ

橿原市には、原始以来の先人の営みが大地に刻まれた、史跡新沢千塚古墳群、特別史跡藤原宮跡や、江戸時代の建造物が数多く建ち並び、当時の町並みを今に伝える重要伝統的建造物群保存地区今井町をはじめとする、優れた歴史遺産が随所に残されています。

本市では、このような貴重な文化財の保護と活用に取り組んでおり、このたび、新沢千塚古墳群公園整備事業の先駆けとして、「歴史に憩う橿原市博物館」を開館いたしました。

博物館の前身は、1976（昭和 51）年の新沢千塚古墳群の史跡指定が契機となり、財団法人大和歴史教育センターが建設され、1978（昭和 53）年に開館しました橿原市千塚資料館です。

博物館は先の資料館と同様に、隣接する新沢千塚古墳群のサイトミュージアムとしての位置付けはもちろんですが、本市を代表する縄文時代の終わり頃から江戸時代までの、二千数百年にわたる遺跡出土資料の展示を通し、本市の歴史の息吹を体感しながら楽しく学んでいただくことをモットーにしております。

また、来館者一人一人に合う展示資料の紹介と、本市の豊かな歴史遺産への訪問をサポートする、斬新なパーソナルガイドを全国で初めて設置しました。

これからは、魅力溢れる博物館の創造を目指してまいりますので、皆様の幾度とないご来館をお待ちしております。

2016（平成 28）年 2 月

歴史に憩う橿原市博物館



## 目 次

1. 施設の概要	1
2. リニューアルオープンに至る経緯と館の名称	4
(1) リニューアルオープンに至る経緯と経過	4
(2) 橿原市千塚資料館から歴史に憩う橿原市博物館への改称	4
(3) 展示の方針	4
3. 展示	5
(1) 常設展示室	5
(2) 特別展示室	6
(3) ロビー展示	6
4. 特別展・企画展・ロビー展示	7
5. 体験講座	13
6. 定期講座	13
7. 学校等校外学習、視察・研修、職場体験学習及び夏休み小・中学校生徒自主学習	14
8. ボランティアガイドスタッフによる解説	15
9. 観覧者	16
10. 所蔵資料の活用	17
11. 刊行物一覧	20
12. 出前講座等	20
13. 利用案内	21
14. 条例・規則	22

## 1. 施設の概要

歴史に憩う橿原市博物館は、1978（昭和53）年12月3日に開館した橿原市千塚資料館を改修し、名称も「歴史に憩う橿原市博物館」に改め、2015（平成26）年4月1日にリニューアルオープンした博物館である。建物は鉄筋コンクリート造りの中3階2階建である。面積は1階629.53㎡、2階603.74㎡、中3階37.83㎡で、全体の延べ床面積は1,271.10㎡である。歴史に憩う橿原市博物館は、橿原市教育委員会生涯学習部歴史に憩う橿原市博物館の所管である。

### 歴史に憩う橿原市博物館の概要

名称	歴史に憩う橿原市博物館	
所在地	橿原市川西町858番地の1	
建物展示改修設計費	7,119,000円	
建物展示改修設計者	(株)榊谷設計	
建物改修工事費	285,440,190円	
建物改修施工者	(株)鍛冶田工務店・(株)平成建設特定建設工事共同体	
展示改修工事費	155,400,000円	
展示改修施工者	(株)乃村工藝社	
面積	1,271.10㎡	
	・展示室（2階）	
	常設展示室1（かしはらの夜明け）	28.23㎡
	常設展示室2（新沢千塚とその時代・藤原京の世界）	175.00㎡
	常設展示室3（京との訣別 - 新たな歩み - ）	44.10㎡
	特別展示室（特別展・企画展開催）	77.44㎡
	ガイダンスホール	28.28㎡
	エントランスホール（受付含）	70.12㎡
	廊下	51.58㎡
	スタッフルーム	13.83㎡
	図書閲覧コーナー	21.17㎡
	授乳室	6.94㎡
	機械室	15.34㎡
	その他	71.71㎡
	・収蔵庫・事務室等（1階）	
	特別収蔵庫	37.50㎡
	収蔵庫	70.40㎡
	体験スタジオ	37.50㎡

事務室	67.50 m <sup>2</sup>
資料整理室1 (図面作成・資料管理等)	36.44 m <sup>2</sup>
資料整理室2 (遺物整理)	61.13 m <sup>2</sup>
会議室1	16.80 m <sup>2</sup>
会議室2	17.16 m <sup>2</sup>
ロビー	100.00 m <sup>2</sup>
荷解場 (借用資料搬入出)	36.38 m <sup>2</sup>
機械室	13.50 m <sup>2</sup>
その他	135.22 m <sup>2</sup>
・中3階	
その他	37.83 m <sup>2</sup>



消火設備 ハロゲン化物消火 (特別展示室・特別収蔵庫)

映像 ガイダンスホール…60型モニター1台・19型タッチパネルモニター埋め込みタッチパネル2台 (「かしはらの魅力」信仰のかたち～陵墓・社寺・大和三山～、歴史の面影～遺跡と風景～ 各3分・「あなたへのおすすめガイド」)

常設展示室2 (新沢千塚とその時代・藤原京の世界) …大型スクリーン (「新沢千塚とその時代」・「藤原京の世界」 各3分)

グラフィック 20枚…ガイダンスホール4枚、エントランスホール3枚、常設展示室1 (かしは

らの夜明け) 3 枚、常設展示室 2 (新沢千塚とその時代・藤原京の世界) 7 枚、常設展示室 3 (京との訣別 - 新たな歩み -) 3 枚

壁面説明パネル 12 枚…常設展示室 1 (かしはらの夜明け) 4 枚、常設展示室 2 (新沢千塚とその時代・藤原京の世界) 3 枚、常設展示室 3 (京との訣別 - 新たな歩み -) 5 枚

台上説明パネル 55 枚…常設展示室 1 (かしはらの夜明け) 9 枚、常設展示室 2 (新沢千塚とその時代) 13 枚・(藤原京の世界) 11 枚、常設展示室 3 (京との訣別 - 新たな歩み -) 22 枚

台上クイズパネル 16 枚…常設展示室 1 (かしはらの夜明け) 4 枚、常設展示室 2 (新沢千塚とその時代) 4 枚・(藤原京の世界) 4 枚、常設展示室 3 (京との訣別 - 新たな歩み -) 4 枚

展示資料キャプション 31 枚

展示資料ナンバー表記物 258 個

#### 常設展示室・特別展示室ケース・ステージ

展示室 (室名)	ケース等	数量	寸 法 (mm)		
			W	D	H
展示室 1 かしはらの夜明け	据付壁面 L 型ステージ	1	1200	9000	750
展示室 2 新沢千塚とその時代 藤原京の世界	据付壁面ステージ	1	1200	9000	750
	据付壁面半楕円型ステージ	1	1200	16760	750
	行灯ケース	3	600	600	2100
	薄型 5 面ガラスケース	6	350	800	2700
展示室 3 京との訣別	据付コ字型ステージ	1	900	14400	750
特別展示室	据付壁面ケース (エアタイト)	1	1400	6750	3000
	行灯ケース (エアタイト)	1	900	900	2100
	5 面ガラスケース (エアタイト)	3	1200	1800	2700
	平覗きケース (エアタイト)	2	900	1800	1050

## 2. リニューアルオープンに至る経緯と館の名称

### (1) リニューアルオープンに至る経緯と経過

- 2011（平成23）年 7月26日 千塚資料館大規模改修工事基本・実施設計着手
- 2012（平成24）年 2月29日 千塚資料館大規模改修工事基本・実施設計完了
- 2012（平成24）年 6月21日 千塚資料館大規模改修工事着工
- 2012（平成24）年 7月27日 千塚資料館展示改修業務着手
- 2012（平成24）年10月31日 千塚資料館展示ケース製作及び設置業務着手
- 2013（平成25）年 3月15日 千塚資料館大規模改修工事完了
- 2013（平成25）年12月26日 榎原市千塚資料館から歴史に憩う榎原市博物館に改称
- 2014（平成26）年 2月21日 千塚資料館展示改修業務・展示ケース製作及び設置業務完了
- 2014（平成26）年 3月29日 リニューアルオープン記念式典
- 2014（平成26）年 4月 1日 リニューアルオープン
- 2014（平成26）年 7月 2日 博物館法に規定する登録博物館原簿に登録（第15号）

### (2) 榎原市千塚資料館から歴史に憩う榎原市博物館への改称

博物館は先の資料館と同様に、隣接する新沢千塚古墳群のサイトミュージアムとしての位置付けはもちろんのこと、本市を代表する縄文時代の終わり頃から江戸時代までの、二千数百年にわたる遺跡出土資料の展示を通し、本市の歴史の息吹を体感しながら楽しく学ぶことができる「地域に根ざした博物館」を理念に事業を着実に展開していくことを目指した。

そして、奈良県立榎原考古学研究所 菅谷文則所長から、“人と人のつながりの真ん中に歴史があり、歴史を体感できる博物館として、まさに市民のサロンとなるよう。”との想いを表す「歴史に憩う博物館」の館名をご提案いただき、「榎原市千塚資料館」から「歴史に憩う榎原市博物館」に改称した。

### (3) 展示の方針

常設展示、特別展・企画展、ロビー展示を以下の方針を定め、おこなうこととする。

1. 榎原市の歴史文化を語るうえで新沢千塚古墳群と藤原宮跡を中心に造営されたわが国最初の都城藤原京がもっとも重要であることから、これら二つの歴史遺産を骨格に、この地に人が暮らし始めた縄文時代から江戸時代までの歩みを遺跡出土資料・グラフィック・パネル・映像を用いて紹介し、見学者に本市の豊かな歴史文化に親近性を抱いてもらう。
2. 展示資料は基本的に榎原市の所蔵品で構成し、一部を他機関から借用する。
3. 展示資料は実物資料を原則とする。ただし、本市の歴史文化を語るうえで不可欠な資料であって、他機関所蔵で借用が不可能である場合においては、復原模造品・レプリカとする。
4. 見学者が展示資料を間近に鑑賞することで、展示資料がもつ造形美や質感を感じることができるようにする。ただし、脆弱な展示資料に限って最小限度の小ケースを用いる。

5. 展示資料と同等の実物資料に直接触れるコーナーを設置することで、見学者が展示資料をより深く観察し、製作者の思いや当時の社会の息吹を体感できるようにする。
6. 特別展示室では、本市の歴史に関わる各地の重要な資料を展示する特別展や企画展をおこなう。
7. 常設展示とは別にロビー展示をおこなうことで、些細な歴史事象についても関心を抱いてもらえるようにする。
8. 展示の解説は、ボランティアガイドスタッフと協力しておこなう。

### 3. 展示

#### (1) 常設展示室

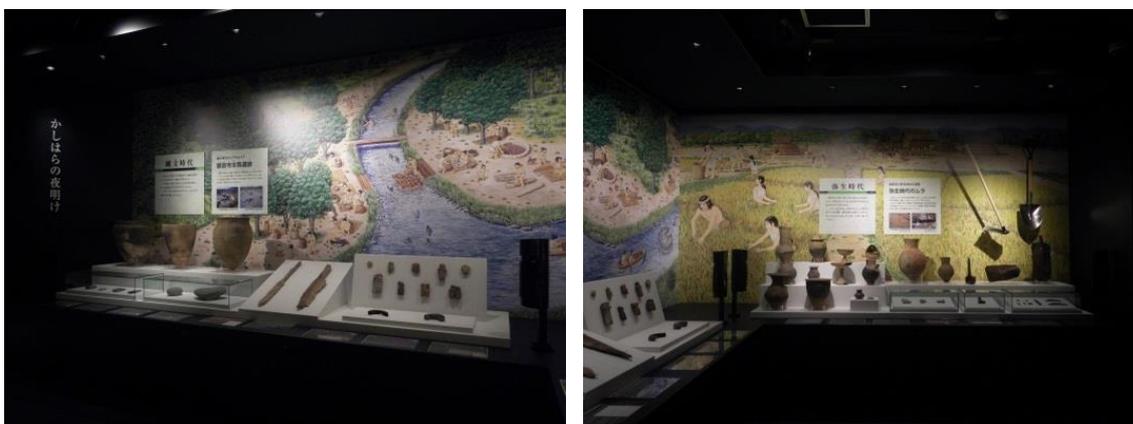
##### 展示室の概要

常設展は橿原市が歩んできた歴史のなかで、本市はもとより日本の歴史を語るうえで最も重要な歴史遺産である新沢千塚古墳群、藤原京を中核に据えながら、本市に人々が集住しはじめた縄文時代晩期から江戸時代までの通史を紹介し、見学者に本市の豊かな歴史・文化を身近に感じていただけるものとしている。

展示室は3室で構成され、展示総面積は247.33㎡、展示資料の総点数は831点である。このうち実物資料382点（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館借用資料30点を含む）、復原模造品444点、レプリカ3点、模型1点、標本（菖蒲池古墳土層断面剥ぎ取り）1点である。

各展示室にはコーナータイトルを付け、見学者に展示意図を明快に伝わるようにしている。

常設展示室1 コーナータイトル「かしはらの夜明け」と題し、本市に人が集住しはじめたことが明らかである縄文時代晩期から、稲作の開始によりこの地が豊かに発展する土壌を築いた弥生時代の歴史を紹介する。



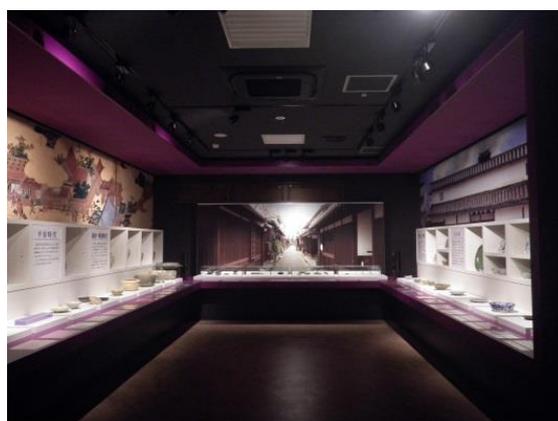
常設展示室2 最大の展示面積を有す室で、古墳時代と日本初の本格的な都城である藤原京を紹介する。古墳時代はコーナータイトル「新沢千塚とその時代」と題し、新沢千

塚 126 号墳復原模造品（現品は重要文化財で東京国立博物館所蔵）を中心に一部新沢千塚古墳群の実物資料（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館から借用）を含め朝鮮半島との交流を示す資料、古墳時代の終焉を示す植山古墳出土資料展示により古墳時代の歴史を紹介する。

日本初の本格的な都城である藤原京に焦点をあて、コーナータイトル「藤原京とその世界」と題し、現代に続く社会の規範を築き上げたことを紹介する。



常設展示室 3 コーナータイトル「京との訣別 - 新たな歩み - 」と題し、平城京遷都後、この地で織り成された奈良時代から江戸時代の歴史を紹介する。



## (2) 特別展示室

本市が歩んできた歴史の一端を表す資料を素材に、各地で出土した関連資料の一体的な展示を通し、歴史における共通性や地域毎の独自性を分かりやすく紹介し、わが国の豊かな歴史・文化を身近に感じていただけるようにする。展示は、1年4回（特別展1回、企画展3回）開催する。

## (3) ロビー展示

文化財課の協力により、本市がこれまでに実施した埋蔵文化財発掘調査の成果速報や出土資料のなかで特定資料に焦点をあてたロビー展示を整理室2（遺物整理）でおこない、見学者に本市の歴史の一コマを感じてもらえるようにする。

#### 4. 特別展・企画展・ロビー展示

ニューアルオープン記念企画展を始めとする企画展3回、特別展1回、体験講座実施成果展1回、ロビー展示2回（2回目は平成27年度に継続）を下記のとおり開催した。

##### (1) リニューアルオープン記念企画展 里ひらく～京奈和道の築造と遺跡の新発見～

〔内容〕 本市西部を中心に大和高田市、御所市にかけての地域は、これまで発掘調査件数が少ない地域であった。そのため遺跡の存在は想定されていたものの、「遺跡の空白地帯」ともいうべき状況を呈していた。

しかし近年、京奈和自動車道築造に伴う発掘調査によって、主に縄文時代から古墳時代にかけての様相が明らかとなっている。中でも縄文時代から弥生時代にかけては、人々の生活と自然環境の変化までが明らかとなった。この成果は当該地域にとどまらず、日本における縄文文化及び弥生文化の展開を解明するうえで、非常に重要といえる。また、古墳時代においても、特に中期の大和における渡来系氏族の果たした歴史的意義を考察するうえで重要な資料が多く出土している。

そこで本企画展では、本市西部から大和高田市、御所市にかけて近年に実施した発掘調査のうち、特に上記の点で重要と考えられる遺跡を取り上げ、当該地域の遺跡の歴史的意義を探った。

同時に、弥生時代と現代を結ぶ資料として、弥生時代に生息していた昆虫の標本（現生）を展示し、様々な来館者に歴史を身近なものとして感じてもらえるものとした。

〔期間〕 2014（平成26）年4月1日（火）～6月1日（日）

〔観覧者〕 1,776人

〔展示遺跡と展示資料〕 展示資料総点数 129点 ※展示資料後の()内は資料を帰属する機関

新堂遺跡…土器・石器（橿原市）

川西根成柿遺跡…土器・土製品・石器・木製品（奈良県立橿原考古学研究所・大和高田市・橿原市）

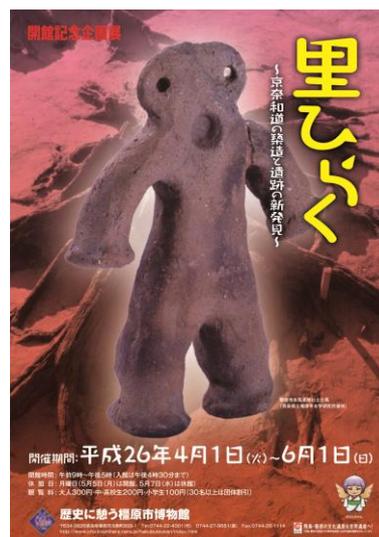
観音寺本馬遺跡…土偶・土器・石器・石製品・集骨墓レプリカ・土器棺墓レプリカ（奈良県立橿原考古学研究所・奈良県立橿原考古学研究所附属博物館・橿原市）

中西遺跡…土器・石包丁・木製品（奈良県立橿原考古学研究所・御所市）

玉手遺跡…土偶・赤漆塗り糸玉（御所市）

秋津遺跡…石製品・銅鏃（奈良県立橿原考古学研究所）

昆虫標本…ノコギリクワガタ、コガネムシ、ケシガムシ、モモトシデムシ、サクラコガネ、



マメコガネ、コアオハナムグリ（橿原市昆虫館）

〔講演会〕

場所 クリーンセンターかしはら 3階研修室

時間 午後1時30分～午後3時00分

開催日と講師及び講演名

2014（平成26）年4月12日（土）

松井一晃（当館学芸係長）「里ひらく」

2014（平成26）年4月26日（土）

深澤芳樹氏（奈良文化財研究所 客員研究員）「大和に花開いた弥生文化」

2014（平成26）年5月10日（土）

松田真一氏（香芝市二上山博物館 館長）「縄文人の生業戦略」

2014（平成26）年5月24日（土）

木下 亘氏（奈良県立橿原考古学研究所）「文物を通して見た大和の渡来文化」

聴講者 275人

（2）夏季特別展「新沢千塚」

〔内容〕 橿原市の南西部、当館の隣に位置する新沢千塚古墳群は、日本を代表する群集墳である。東西約2km・南北約2.5kmの丘陵地に約600基もの古墳が存在する。1962（昭和37）年から5年間の発掘調査においては、武器、武具、馬具や装身具などの副葬品や埴輪など豊富な遺物が出土した。

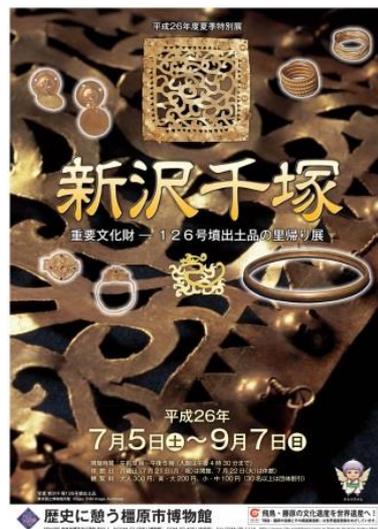
特に126号墳の埋葬施設に納められていたガラス容器や金銀製の装身具は、ペルシャ地方や中国東北部、朝鮮半島といった海外からもたらされた品物である。126号墳出土品は古墳時代の広範囲な国際交流を示す希少な資料であり、国の重要文化財に指定されている。

今回の展示は、東京国立博物館所蔵の126号墳出土資料の里帰りをはじめ、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館、当館に分かれて所蔵されている新沢千塚の出土遺物を一同に集め、新沢千塚から出土した様々な遺物を次の6つのテーマ〔①墳丘外部表装、②供膳器、③装身具、④闘争具、⑤乗馬具、⑥呪具〕に沿って列品をおこなうことで、新沢千塚の意義を改めて探った。

〔期間〕 2014（平成26）年7月5日（土）～9月7日（日）

〔観覧者〕 2,433人

〔展示遺跡と展示資料〕 展示資料総点数96点 ※展示資料後の()内は資料を帰属する機関  
新沢千塚126号墳…金製龍文方形冠飾、金製腕輪、銀製腕輪、金製步揺、金製花卉指輪、金螺



旋状指輪、銀製指輪（重要文化財：東京国立博物館）

新沢千塚 166 号墳…家形埴輪、円筒埴輪、朝顔形埴輪、須恵器（橿原市）

新沢千塚 109 号墳…鉄刀・鉄剣（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館所蔵、以下同）

新沢千塚 115 号墳…小玉、勾玉、ガラス丸玉、五鈴鏡、二神三獣鏡

新沢千塚 139 号墳…鉄鏃

新沢千塚 173 号墳…鉄刀

新沢千塚 178 号墳…馬具（f 字形鏡板、剣菱形杏葉、雲珠）

新沢千塚 206 号墳…須恵器

新沢千塚 213 号墳…斜縁二神二獣鏡、内向花文鏡、三獣形鏡、石釧、勾玉、ガラス小玉

新沢千塚 262 号墳…須恵器

新沢千塚 281 号墳…短甲、冑、頸甲、鉄刀、須恵器（脚付鉢）

新沢千塚 323 号墳…金環、管玉、棗玉

〔講演会〕

場所 クリーンセンターかしはら 3 階研修室

時間 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

開催日と講師及び講演名

2014（平成 26）年 7 月 12 日（土）

石坂泰士（当館学芸員）「これで分かる！新沢千塚、大解剖」

2014（平成 26）年 7 月 26 日（土）

菅谷文則 氏（奈良県立橿原考古学研究所所長）「シルクロードの宝物を集めた 126 号墳」

2014（平成 26）年 8 月 2 日（土）

千賀 久 氏（葛城市歴史博物館館長）「新沢千塚に葬られた渡来人」

2014（平成 26）年 8 月 23 日（土）

中久保辰夫 氏（大阪大学埋蔵文化財調査室助教）「激動の 5 世紀と橿原の遺跡－渡来文化の導入－」

聴講者 551 人

（3）秋季企画展「かしはらの歴史をさぐる 20－平成 23～25 年度埋蔵文化財発掘調査成果展－」

〔内容〕 文化財課が平成 23 年度から平成 25 年度に実施した発掘調査のうち、特に大きな成果をあげた調査を紹介し、橿原市における最新の発掘調査成果を知っていただいた。

同時に、本市で作成している報告書刊行済の遺跡について、整理の過程やその内容を紹介し、文化財の調査・保存について理解を深めていただいた。

〔期間〕 2014（平成 26）年 10 月 18 日（土）～12 月 14 日（日）

〔観覧者〕 1,028 人

〔展示遺跡と展示資料〕 展示資料総点数 60 点

菖蒲池古墳…土器・榛原石・瓦

東池尻・池之内遺跡…土器  
植山古墳 …土器・石棺材  
藤原京右京十一・十二条三・四坊…土師器・須恵器・瓦・  
各種図面・報告書

〔調査報告会〕

場所 クリーンセンターかしはら 3階研修室

時間 午後1時30分～午後3時00分

開催日と報告者及び報告調査

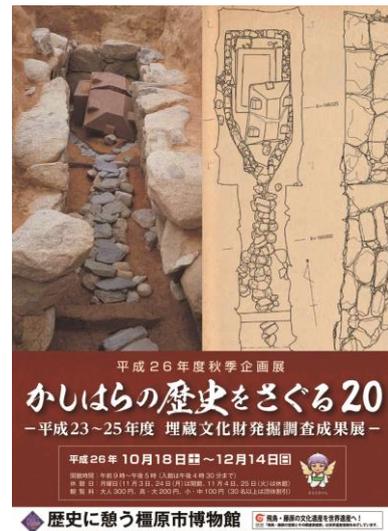
2014（平成26）年10月25日（土）

松井一晃（当館学芸係長）「菖蒲池古墳」

石坂泰士（当館学芸員）「植山古墳」

2014（平成26）年11月22日（土）

平岩欣太（文化財課統括調整員）「東池尻・池之内遺跡、藤原京右京十一・十二条三・四坊」  
聴講者 58人



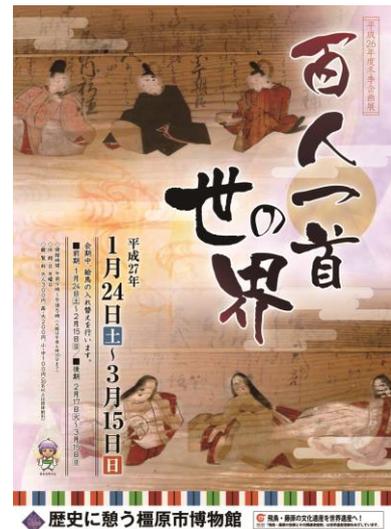
（4）冬季企画展「百人一首の世界」

〔内容〕 百人一首の代表でもある『小倉百人一首』は、『新古今和歌集』の撰者である藤原定家が古今の和歌百首を選び、その子為家らによって編纂された秀歌撰である。江戸時代になると、歌かるたとして人々に親しまれ、現在ではカルタ競技としての愛好者も多い。

橿原市においても、小・中学校の行事として、かるた大会が行われているだけでなく、市指定文化財（民俗文化財）として「百人一首絵馬」が当館に所蔵されている。

江戸時代に描かれた百人一首絵馬（全14面）は、見瀬町の牟佐坐神社（むさにいますじんしゃ）拝殿の四周に掲げられていたもので、地元自治会で保存されていたが、長年の風雨等で傷みが激しくなったため、2009（平成20）年から3年にわたって保存修理を行った。

今回はその完成を記念して、市指定文化財の展示を含めた百人一首をはじめ百人一首が詠まれた時代（古代）、百人一首が編まれた時代（中世）、百人一首が親しまれた時代（近世）の3部構成による展示をおこない、百人一首への理解を深めてもらうと同時に修理過程を紹介し、文化財を後世に伝える装こう技術を知ってもらう機会とした。



〔期間〕 2015（平成27）年1月24日（土）～3月15日（日）

〔観覧者〕 945人

〔展示遺跡と展示資料〕 展示資料総点数60点 ※展示資料後の（）内は資料を帰属する機関

市指定文化財「百人一首絵馬」…14面

光琳かるた（橿原市図書館）

藤原京跡…土師器（坏、ミニチュア壺・横瓶）、須恵器（埴、甕、ハソウ）

新堂遺跡…土師器（皿）、瓦質土器（埴、皿、火鉢）、磁器（白磁碗、青磁碗）

今井寺内町…土師器（灯明皿）、磁器（染付碗・皿）、陶器（播鉢）

国分寺跡…陶器（甕）

〔講演会〕

場所 クリーンセンターかしはら 3階研修室

時間 午後1時30分～午後3時00分

開催日と講師及び講演名

2015（平成27）年2月8日（日）

京都百人一首・かるた研究会 代表 河田久章氏「百人一首講話」

2015（平成27）年3月1日（日）

株式会社 文化財保存 代表取締役 吉岡 宏氏「橿原市指定文化財『百人一首絵馬』  
の修理について—装こう修理の考え方—」

聴講者 46人

〔関連イベント〕

百人一首な一日（百人一首の色紙をつくろう！）

好きな百人一首の歌と折り紙で、色紙を作成。

場所 当館

開催日 2015（平成27）年2月1日（日）

参加者 17人

歌かるたを楽しむ—競技かるたに挑戦—（奈良県立畝傍高校小倉百人一首かるた部共催）

畝傍高校小倉百人一首かるた部の競技のデモンストラーション見学後、競技かるたを体験

場所 クリーンセンターかしはら 3階研修室

開催日 2015（平成27）年3月8日（日）

参加者 52人

## （5）体験学習作品展 「色を育てる・染める・使う」

〔内容〕 新沢小学校の協力を得て校庭の畑で藍の栽培を行い、同校児童18名が8月30日に当館の体験学習として生育した藍を使った「藍染め」に参加し、布に生葉染め、型染め、擦り染めした力作を展示しその成果を紹介した。

〔期間〕 2014（平成26）年9月13日（土）～9月28日（日）

〔展示品〕 児童作成の藍染作品

〔観覧者〕 211人



### (6) ロビー展示1 「今井から江戸時代を語る - 今井寺内町 環濠発掘調査の成果から -」

〔内容〕 文化財課の協力により、平成26年度文化財課で実施した今井町西南環濠の成果の速報展をおこなった。

〔期間〕 2014(平成26)年12月6日(土)～12月26日(金)

〔展示資料〕 展示資料総点数30点(土師器、陶磁器、瓦、木製品、火縄銃の弾丸)

〔観覧者〕 461人

### (7) ロビー展示2 「東池尻・池ノ内遺跡、大藤原京左京五条八坊発掘調査成果展」

〔内容〕 文化財課の協力により磐余池跡と考えられる東池尻・池ノ内遺跡の発掘調査の成果展をおこなった。

〔期間〕 2015(平成27)年3月17日(火)～5月10日(金)

〔展示資料〕 展示資料総点数  
20点(土師器・須  
恵器)

〔観覧者〕 199人(2015(平  
成27)年3月17  
日～3月31日まで)

歴史に憩う権原市博物館 発掘調査速報ロビー展

#### 今井町から江戸時代を語る - 今井寺内町発掘調査の成果から - 平成26年12月6日(土)～26日(金) 博物館 1階ロビー



今年7月から発掘調査中の「今井寺内町」出土品を展示します。  
今井町は前期に調査された環濠遺跡でしたが、明徳時代以降、遺跡は次第に埋められていき、現在では一部にその姿を残すのみとなっています。

今期の調査では、新・旧2期の環濠を確認し、今期の掘り変わりを見せつける貴重な成果がありました。  
現地説明会を見学された方も、見逃してしまっても、この機会にぜひ博物館に足をお運びください。

【展示品】  
環濠出土 陶磁器・鏡・下駄・木製品ほか  
※1階ロビーは無料です。  
※2階展示室は、別途観覧料が必要です。  
※月曜日は休館です。



【お問合せ】  
歴史に憩う権原市博物館  
電話 0744-27-0681

歴史に憩う権原市博物館 発掘調査速報ロビー展

#### 磐余池推定地 東池尻・池之内遺跡の発掘調査 平成27年3月17日(火)～5月10日(金) 博物館 1階ロビー



東池尻・池之内遺跡は、6世紀後半に築かれた巨大な跡跡であることが近年の発掘調査によって明らかになった遺跡です。  
また、「日本書紀」巻7「推古天皇」に記された磐余池・東池尻・池之内遺跡は、その磐余池の跡跡地とされています。  
平成27年2～3月に実施した最新の発掘調査成果と合わせ、これまでの調査成果をまとめた速報展を行います。お公開の出土品も多数展示します！  
この機会にぜひ博物館に足をお運びください。

【展示品】  
土師器・土師器・土師器ほか  
※1階ロビーは無料です。  
※2階展示室は、別途観覧料が必要です。  
※月曜日は休館です。観覧の場、展示品は休館です。



【お問合せ】  
歴史に憩う権原市博物館  
電話 0744-27-0681

## 5. 体験講座

「色を育てる・染める・使う」をコンセプトに染色体験講座を3回開催した。うち1回は昆虫館との共同開催である。

### (1) 「藍染め」

場所 歴史に憩う橿原市博物館

開催日 2014（平成26）年8月30日（土）

参加者 26人

### (2) 「稲刈り・稲染め」（昆虫館と共催）

場所 昆虫館

開催日 2014（平成26）年10月31日（土）

参加者 27人

### (3) 「どんぐり染め」

場所 歴史に憩う橿原市博物館

開催日 2014（平成26）年12月6日（土）

参加者 12人



藍染め体験の様子

## 6. 定期講座

「日本の古代都城－飛鳥京～平城京－」をテーマに4回の講座を開催した。

〔内容〕 本市に所在した藤原京は、法治国家としての日本の成立を考えるうえでも、日本における都市の成立を考えるうえでも非常に重要な京である。そこで日本の都城を主題に、飛鳥時代から奈良時代に至るまでの代表的な京についてとりあげ、日本における都城の特質を学ぶ。

〔場所〕 クリーンセンターかしはら 3階研修室

〔時間〕 午後1時30分～午後3時00分

〔開催日と講師及び講演名〕

第1回 2014（平成26）年9月20日（土）

相原嘉之（明日香村教育委員会文化財課 課長補佐）「飛鳥京」

第2回 2014（平成26）年11月15日（土）

積山 洋（公益財団法人 大阪市博物館協会 大阪文化財研究所 学芸員）「前期難波宮」

第3回 2015（平成27）年2月14日（土）

松井一晃（当館 学芸係長）「藤原京」

第4回 2015（平成27）年3月14日（土）

森下恵介（奈良市埋蔵文化財調査センター 所長）「平城京」

〔聴講者〕 285 人



「飛鳥京」講演会



「前期難波宮」講演会



「藤原京」講演会



「平城京」講演会

## 7. 学校等校外学習、視察・研修、職場体験学習及び夏休み小・中学校生徒自主学習

学校等校外学習及び各種団体の視察・研修、市内中学校2年生を対象に実施される職場体験を受け入れた。また、夏休み期間中に小・中学校生徒向け自主学習の場として会議室2を開放した。内訳は以下の通りである

### (1) 学校等校外学習

5月13日(火) 畷傍東小学校(125人)、6月17日(火) 白檀北小学校(40人)、6月19日(木) 奈良県立橿原高校(126人)、6月20日(金) 奈良県立橿原高校(69人)、7月7日(月) 畷傍地域子ども学級(57人)、8月9日(土) 國學院大學(25人)、10月7日(火) 島根県立出雲高校(45人)、10月28日(火) 大和高田市立菅原小学校(90人：所蔵資料ハンズオン学習)、1月28日(水) 奈良芸術短期大学(20人)

### (2) 視察

7月30日(水) 宮崎市副市長等3人、8月18日(月) 橿原市文化財審議会第1部会委員(8人)、8月22日(金) 橿原市教育委員会委員(5人)、10月28日(火) 橿原市社会教育委員会委員(20人)

(3) 研修

7月31日(木) 第5こども園職員(9人)、8月5日(火) 第5こども園職員(9人)

(4) 職場体験学習

11月18日(火)～11月19日(水) 光陽中学校(3人)、1月27日(火)～1月29日(木)  
白檀中学校(3人)

(5) 夏休み自主学习

会議室開放期間 7月19日(土)～8月31日(日) 利用者75人



畝傍東小学校 校外学習



白檀北小学校 校外学習



畝傍地域子ども学級 体験学習



奈良県立檀原高校 校外学習

## 8. ボランティアガイドスタッフによる解説

ボランティアガイドスタッフを募集し19人の登録があった。ガイドスタッフは休館日を除き、スケジュール調整を行い、各自活動可能な日に展示解説(常設展示、特別展、企画展)をおこなうと共に、校外学習や体験講座の支援を通して博物館の運営支援に携わっていただいた。ガイドスタッフの活動実績は以下の通りである。

	開館日数	ガイド人数	観覧者
4 月	26 日	79 人	923 人
5 月	27 日	66 人	825 人
6 月	25 日	63 人	714 人
7 月	27 日	84 人	1,254 人
8 月	27 日	72 人	1,065 人
9 月	25 日	67 人	651 人
10 月	27 日	59 人	371 人
11 月	26 日	54 人	577 人
12 月	22 日	49 人	287 人
1 月	23 日	58 人	240 人
2 月	24 日	59 人	449 人
3 月	26 日	61 人	431 人
合 計	305 日	771 人	7,787 人

## 9. 観覧者

観覧者数（常設展示・特別展・企画展）は7,787人、内訳は以下の通りである。

	開館 日数	有料観覧者			無料観覧者				合計
		大人	学生	小人	大人	学生	小人	幼児	
4 月	26	792	11	31	81	1	2	5	923
5 月	27	504	14	18	128	0	152	9	825
6 月	25	270	29	5	104	189	101	16	714
7 月	27	734	22	33	338	7	111	9	1,254
8 月	27	725	69	80	144	0	20	27	1,065
9 月	25	545	15	20	46	0	17	8	651
10 月	27	254	44	1	67	0	1	4	371
11 月	26	295	5	4	249	0	23	1	577
12 月	22	224	0	1	56	0	4	2	287
1 月	23	185	23	10	11	0	7	4	240
2 月	24	275	32	9	105	2	18	8	449
3 月	26	199	9	9	130	18	62	4	431
合計	305	5,002	273	221	145	217	518	97	7,787

## 10. 所蔵資料の活用

以下の資料を下記の機関に貸し出し、公開利用に寄与した。

### (1) 資料の貸出

No.	貸出先・期間	遺跡	資料名	点数	活用方法
1	国立歴史民俗博物館 [期間] 2014(平成26)年9月16日～ 2015(平成27)年1月9日	藤原京跡 (右京九条四坊)	木簡(複製品) 奈良文化財研究所展 示資料貸出に係る現 資料の許可	1	平成26年度企画展 「文字がつなぐ-日本列 島と朝鮮半島-」 [展示期間] 2014(平成26)年10月 15日～12月14日
2	奈良県立橿原考古学研究所附 属博物館 [期間] 2014(平成26)年7月1日 ～9月19日	植山古墳	須恵器(高坏1、坏身 3、坏蓋3、装飾付器台 1)、土師器(高坏2)	11	速報展「大和を掘る32」 [展示期間] 2014(平成26)年7月19 日～平成26年9月7日
3	下関市立考古博物館 [期間] 2014(平成26)年9月8日～ 平成26年12月12日	坪井・大福 遺跡	人物線刻画土器 (市指定文化財)	1	平成26年度特別展 「青銅器と弥生人のまつ り-祭具からみた祭りの すがた-」 [展示期間] 2014(平成26)年9月27 日～11月24日
4	八尾市立歴史民俗資料館 [期間] 2014(平成26)年9月22日～ 12月12日	今井寺内町	瀬戸美濃焼(天目碗1、 菊皿1)肥前系磁器(大 皿2、碗1)唐津焼(碗 1、ぐい呑み1、絵皿1)、 備前焼(水差し1)、中 国製(青磁碗1、皿1)、 陶香1、小柄1、石製 硯1、横櫛1	15	平成26年度特別展 「変わる寺内町像-発掘 調査の成果から-」 [展示期間] 2014(平成26)年10月 11日～11月24日
5	(公財)桜井市文化財協会 [期間] 2014(平成26)年9月22日～ 12月12日	坪井・大福 遺跡	弥生土器(壺5、甕1、 水差し形土器1)、木製品 (高坏1、柄頭1、単 甲1、槌1、十能形1、 柄杓1)、石剣(サヌカ イト製1)	14	平成26年度特別展 「地下に眠る弥生集落～ 坪井・大福遺跡の調査と その成果」 [展示期間] 2014(平成26)年10月1 日～11月30日
6	(一社)橿原市観光協会 [期間] 2014(平成26)年11月28日 ～12月19日		古代の食卓(貴族)復 原資料	一式	大和かしはらの観光展～ 藤原京物語～ [展示会場] 奈良まほろ ば館 [展示期間] 2014(平成26)年12月4 日～12月16日
7	橿原市立今井小学校 [期間] 2015(平成27)年1月29日 ～1月30日	今井寺内町	鉄砲の弾	2	今井の学習 [展示会場] 華薨 [展示期間] 2015(平成27)年1月29 日～1月30日

8	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 [期間] 2015(平成27)年4月1日～ 2016(平成28)年3月31日	四条遺跡	銅滓付須恵器1、フイゴ羽口24、鉄滓一括、ガラス滓	25	常設展示 [展示期間] 2015(平成27)年4月1日～2016(平成28)年3月31日
		藤原京跡(右京五条四坊)	土馬8、てづくね土器8	16	
9	(医法)南風会 [期間] 2015(平成27)年4月1日～ 2016(平成28)年3月31日	五井遺跡	土師器(坏1、高坏1、甕1、直口壺1、広口壺1、小型丸底壺1、小型丸底鉢1)	7	病院1階ロビーにて展示 [展示期間] 2015(平成27)年4月1日～2016(平成28)年3月31日

(2) 資料の掲載

No.	貸出先	資料名(写真デジタルデータ等)	点数	掲載書籍等
1	(株)山川出版	藤原京復原模型	1	日本史リブレット6 天武天皇と持統天皇
2	(株)育鵬社	藤原京復原模型	1	中学社会 新しい日本の歴史
3	国立歴史民俗博物館	藤原京跡(右京九条四坊)出土「四方卍口大神龍王」木簡	1	平成26年度特別展図録『文字がつなぐ-日本列島と朝鮮半島-』
4	(株)洋泉社	植山古墳(航空写真、家形石棺、西石室)、丸山古墳(航空写真)	4	洋泉社MOOK『歴史REAL 古代天皇陵と巨大古墳の謎』
5	奈良文化財研究所 飛鳥資料館	藤原京復原模型	1	常設展示カタログ「飛鳥資料館案内」
6	(株)吉川弘文館	藤原京跡(右京九条四坊)出土「八卦」木簡	1	細井浩志『日本史を学ぶための<古代の暦>入門』
7	大阪大学准教授 市 大樹	藤原京跡出土呪符木簡	1	市 大樹『飛鳥の木簡』中央公論社(2002)の韓国語翻訳版
8	集英社新書	観音寺本馬遺跡(根株、環状杭列、木組遺構)出土状況	3	集英社新書『縄文人からの伝言』
9	島根県立八雲立つ風土記の丘	新沢千塚古墳群(航空写真)	1	平成26年度企画展図録・展示パネル「古代の住まい」
10	(株)KADOKAWA 中経出版ブランドカンパニー	藤原京復原模型	1	電子書籍版『新人物文庫 奈良県謎解き散歩』
11	(有)スタジオ・ジップ	植山古墳(航空写真)	1	洋泉社『入門 天皇と皇族』
12	奈良文化財研究所 飛鳥資料館	藤原京復原模型	1	飛鳥資料館常設展示
13	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	菖蒲池古墳(古墳北東隅と掘割、古墳東石敷と掘立柱建物) 東池尻・池之内遺跡(堤及び建物、石敷・石列・砂利敷)	4	速報展図録『大和を掘る32』
14	下関市立考古博物館	坪井・大福遺跡出土人物線刻画土器	1	平成26年度特別展図録『青銅器と弥生人のまつり-祭具からみた祭りのすがた-』
15	(株)NHK エディケイショナル	藤原京復原模型	1	放送大学「歴史と人間(14)天武天皇と持統天皇 DVD ビデオ」
16	(株)悠工房	藤原京復原模型	1	池上康俊他編著『新しい社会歴史』東京書籍発行

17	葛城市歴史博物館	坪井・大福遺跡出土人物線刻画土器	1	葛城市制10周年記念第15回特別展図録 『葛城とヤマトタケル白鳥伝説 - 古代人が残した鳥の造形 - 』
18	橿原市真菅地区郷土の歴史教室	平成 22 年度埋蔵文化財発掘調査位置図、橿教委 2010-2 次 曾我遺跡 (井坪・内ヶ町地区) 条里復原図	2	真菅地区公民館文化祭発表
19	(有)三猿舎	旧高市郡教育博物館 (外観)	1	洋泉社歴史新書『(仮) あなたの知らない奈良県の歴史』
20	(株)ラムゼス	益田岩船	1	カーナビゲーションスポット情報
21	八尾市立歴史民俗資料館	今井寺内町 (航空写真、今西家住宅と西門の南護岸施設、石垣と濠、環濠西南隅付近 (石垣・内堀・土居・外堀)、17 世紀初め頃の家屋と称念寺、二重の濠、外濠断害状況)	7	平成 26 年度特別展図録 『変わる寺内町像 - 発掘調査の成果から - 』
22	(株)PHP 研究所「歴史街道」	新沢千塚 126 号墳出土資料 (ガラス碗、ガラス皿、青銅製熨斗)	3	『歴史街道 10 月号』 特集「(仮) 古墳を楽しむ」
23	(有)G. B	神武天皇陵 (航空写真)	1	デアゴスティーニ・ジャパン『日本の神社 第 33 号』
24	太子町教育委員会	小谷古墳石室	2	平成 26 年度企画展図録 『聖徳太子没年をめぐる古代学』
25	(株)すぐり企画	観音寺本馬遺跡根株出土状況	1	『スマセイ ベストブック』12 月号
26	糸魚川市教育委員会	新賀・木原遺跡出土白磁碗、新堂遺跡出土土器、五井遺跡出土土器	3	展示資料解説補助パネル
27	東京書籍(株)	藤原京復原模型	1	中学教科書 『新編 新しい社会 歴史』
28	(公財)桜井市文化財協会	坪井遺跡 (人物線刻画土器、木製柄頭、木棺墓、第 7 次調査風景、第 13 次調査区全景、第 14 次第 1 区全景、第 15 次調査航空写真)	7	平成 26 年度特別展図録 『地下に眠る弥生集落～坪井・大福遺跡の調査とその成果』 ガイドマップ『大福遺跡を歩く II』
29	橿原市世界遺産推進課	菖蒲池古墳 平成 22 年度調査区 (墳丘西南隅)	1	「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」写真パネル展
30	洋泉社	藤原京復原模型	1	洋泉社 MOOK『歴史 REAL 歴代天皇 125 代 重大事件の謎と真相』
31	(株)悠工房	藤原京復原模型	1	笹山晴生他著 『中学社会 歴史 未来をひらく』
32	(株)雄山閣	観音寺本馬遺跡 IV・V 埋没樹平面図	1	『別冊 季刊考古学』21 号 特集「縄文の資源利用と社会」
33	(株)MAP&NEWS. net	丸山古墳航空写真	1	ゼンリン主体サービス、ゼンリン WEB サイト・カーナビ、携帯端末、PC 用地図ソフト
34	鷗友学園女子中学校	藤原京復原模型	1	中学校の自主教材 (社会科)
35	(株)正進社	新沢千塚 126 号墳 金製耳飾 (復原模造品)	1	『社会科資料集 6 年』
36	橿原市観光課	菖蒲池古墳、植山古墳、磐余池推定地	3	飛鳥・橿原観光ガイド 『旅さらら』
37	(公財)広島市文化財団	藤原京復原模型	1	「ひろしま WEB 博物館」第四常設展示室

38	橿原市産業振興課	新沢千塚 126 号墳 (龍文方形板、126 号墳出土品の通った道)	4	第 21 回姉妹都市橿原と宮崎の物産展における本市観光 PR
39	(株)ベストセラーズ	今井町環濠跡 2014 年度発掘調査 (遺跡全景、復原環濠 01、銃弾 02)	3	歴史人 2 月号 『歴史人スクープ 奈良県橿原今井町で安土時代の環濠跡が発見!』
40	(株)グレイル	植山古墳 (航空写真、西石室)	2	『(仮)古墳の地図帳』
41	奈良県立橿原考古学研究所付属博物館	新沢千塚古墳群 (航空写真)、東池尻・池之内遺跡 (調査区全景)	2	平成 27 年度春季特別展図録 『継体大王ヤマト』
42	(独法)奈良文化財研究所飛鳥資料館	植山古墳 (東石室全景、西石室関石)、菖蒲池古墳 (家形石棺)	3	常設展示タッチパネル「飛鳥の遺跡」
43	(株)雄山閣	大藤原京跡 (SE124 出土扉門金具)	1	『季刊考古学』第 131 号 特集 古代「竪穴建物」研究の可能性
44	奈良県文化振興課	藤原京復原模型	1	奈良らしい歴史展示推進事業 「幹となる歴史人物ストーリー展示・情報発信」
45	奈良テレビ(株)	丸山古墳・植山古墳 (航空写真)、丸山古墳 (航空写真)、植山古墳 (航空写真、東石室、西石室)	7	2015 (平成 27) 年 3 月 6 日放映 『気ままに歩こう!』
46	橿原市学校教育課	歴史に憩う橿原市博物館 (外観)	1	小学校社会科副読本『わたしたちの橿原市』
47	(有)地人館	藤原京復原模型	1	(株)小峰書店 『新・日本の歴史シリーズ 第 1 巻 (全 5 巻)』
48	東京書籍(株)	藤原京復原模型	1	『新編 新しい社会』
49	(医法)南風会	五井遺跡 (空中写真、竪穴住居出土状況、槽出土状況)、藤原京遺跡分布図	6	病院 1 階ロビーにて展示

## 11. 刊行物一覧

- ・常設展示図録 (2014 (平成 26) 年 4 月 1 日 2,000 部)
- ・案内パンフレット (2014 (平成 26) 年 4 月 1 日 15,000 部)
- ・新沢千塚古墳群ガイドブック (2014 (平成 26) 年 4 月 1 日 500 部)
- ・企画展図録 第 1 冊『里ひらくー京奈和道の築造と遺跡の新発見ー』(2014 (平成 26) 年 4 月 1 日 1,000 部)
- ・図録 第 2 冊 平成 26 年度夏季特別展『新沢千塚』(2014 (平成 26) 年 7 月 5 日 1,000 部)
- ・秋季企画展パンフレット『かしはらの歴史をさぐる 20 - 平成 23~25 年度 埋蔵文化財発掘調査成果 - 』(2014 (平成 26) 年 10 月 14 日 2,500 部)
- ・冬季企画展図録『百人一首の世界』(2015 (平成 27) 年 1 月 24 日 600 部)

## 12. 出前講座等

- ・2014（平成26）年5月28日 橿原市自治委員連合会 総会 - 研修会  
松井一晃 「遺跡の発掘と土地利用の歴史～歴史に憩う橿原市博物館開館記念企画展『里ひらく』から～」
- ・2014（平成26）年6月21日 新沢地域子ども教室  
濱口和弘 田原明世 「橿原市の歴史」
- ・2014（平成26）年8月7日 教職員（新転入・新採用含む）研修会  
濱口和弘 「歴史に憩う橿原市博物館について」
- ・2014（平成26）年11月29日 NPO法人 藤原京まちづくり会  
松井一晃 「藤原京歴史教室」
- ・2015（平成27）年1月6日 真菅北学童クラブ  
田原明世 「古代に親しみ関心を…」

### 13. 利用案内

所在地：〒634-0826 奈良県橿原市川西町858番地の1

TEL：0744-27-9681

FAX：0744-26-1114

URL：<http://www.city.kashihara.jp/hakubutsukan/>

開館時間：午前9時00分～午後5時00分（入館受付は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（祝祭日の場合は翌平日。）及び12月27日～1月4日

観覧料：

	大人	学生 (高校・大学生)	小人 (小・中学生)
個人	300円	200円	100円
団体（30人以上）	270円	180円	90円
団体（100人以上）	210円	140円	70円

交通：公共交通機関

近鉄：橿原神宮前駅下車（西出口） 徒歩30分

奈良交通バス：橿原神宮前駅西口のりば

「近鉄御所行駅」行「川西」下車 徒歩2分

車利用の場合

京奈和自動車道「橿原北IC」から7.2km・「御所IC」から2.3km

大和高田バイパス「新堂ランプ」から2.8km

## 14. 条例・規則

### 歴史に憩う橿原市博物館条例

平成 25 年 12 月 26 日

条例第 30 号

(設置)

第 1 条 橿原市は、郷土の歴史資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図ることにより、市民の郷土に対する理解と知識を深め、もって広く教育、学術及び文化の発展に資するため、歴史に憩う橿原市博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
歴史に憩う橿原市博物館	橿原市川西町 858 番地の 1

(管理)

第 3 条 博物館は、橿原市教育委員会(以下「教育委員会」という。)がこれを管理する。

(事業)

第 4 条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 資料に関する調査研究に関すること。
- (3) 資料に関する解説書、目録、調査研究の報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (4) 資料に関する講演会、研究会、講習会等の開催に関すること。
- (5) 他の博物館等との刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借等に関すること。
- (6) 他の博物館、学校、学会その他の関係機関との連絡及び協力に関すること。
- (7) その他教育委員会が必要と認める事業

(入館の制限)

第 5 条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者又は入館した者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒否し、又は退館させることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれがある者又はこれらのおそれがある物品を携帯する者
- (2) 動物類(身体障害者補助犬法(平成 14 年法律第 49 号)に規定する身体障害者補助犬及び教育委員会が特に必要と認める動物類を除く。)を携帯する者
- (3) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認める者
- (4) 博物館の施設又はその附属設備、備品、資料等を滅失し、又は毀損するおそれがあると認められる者
- (5) 博物館の管理の業務に従事する者の指示に従わない者
- (6) 前各号に掲げるもののほか、管理上支障があると認める者

(撮影等の許可)

第6条 博物館において資料の撮影、模写、模造等(以下「撮影等」という。)の行為をしようとする者(以下「申請者」という。)は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2 教育委員会は、資料の管理上支障があると認めるときは、前項の許可に条件を付することができる。
- 3 申請者は、撮影等の許可を受けた目的以外に資料を使用し、又はその使用の権利を他人に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(観覧料)

第7条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

- 2 市長は、観覧者が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の観覧料の全部又は一部を免除することができる。
  - (1) 身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けた者及びその介護を行う者
  - (2) その他市長が特別の理由があると認める者
- 3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(協議会)

第8条 博物館に歴史に憩う橿原市博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。
- 3 委員は、学識経験者、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、関係行政機関の職員並びに地域の代表者の中から教育委員会がこれを任命する。
- 4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 第1項から前項までに定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(委任)

第9条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則 抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成26年4月1日から施行する。ただし、第8条及び附則第3条の規定は、規則で定める日から施行する。

(準備行為)

第2条 この条例の施行に際し必要な手続その他の準備行為については、この条例の施行前においても、行うことができる。

附 則(平成27年条例第5号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成27年条例第23号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

別表(第7条関係)

区分	観覧料(1人1回につき)	
	個人	団体
大人	300円	左欄に掲げる額の10パーセントを減じた額とする。ただし、100人以上の団体の場合は、左欄に掲げる額の30パーセントを減じた額とし、これらの額に10円未満の端数がある場合については、その端数金額を切り捨てた額とする。
学生	200円	
小人	100円	

備考

- (1) 学生とは、高等学校、大学及びこれらに準ずる学校の生徒及び学生をいう。
- (2) 小人とは、小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の児童及び生徒をいう。
- (3) 団体とは、30人以上で責任者が引率している場合をいう。ただし、30人未満であっても県内の小学校、中学校、高等学校及びこれらに準ずる学校の児童又は生徒を当該学校の教育職員が引率している場合は、団体とみなす。

## 歴史に憩う橿原市博物館管理運営に関する規則

平成 25 年 12 月 27 日

教育委員会規則第 8 号

橿原市千塚資料館管理運営に関する規則(平成 22 年橿原市教育委員会規則第 10 号)の全部を改正する。

(趣旨)

第 1 条 この規則は、歴史に憩う橿原市博物館条例(平成 25 年橿原市条例第 30 号。以下「条例」という。)第 9 条の規定に基づき、歴史に憩う橿原市博物館(以下「博物館」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 博物館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、入館は、午後 4 時 30 分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、橿原市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認めるときは、博物館の開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第 3 条 博物館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

(1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる場合は、その日以後で最も近い休日でない日)

(2) 1 月 1 日から同月 4 日まで及び 12 月 27 日から同月 31 日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、博物館を臨時に開館し、又は休館することができる。

(遵守事項)

第 4 条 博物館に入館する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 所定の場所以外に博物館備付けの図書を持ち出さないこと。

(2) 所定の場所以外で飲食をしないこと。

(3) 館内で喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(4) 許可を受けずに物品の販売、展示その他営利行為をしないこと。

(5) 許可を受けずに印刷物、ポスター等を配布し、又は掲示しないこと。

(6) その他管理上必要な係員の指示に従うこと。

(観覧料の徴収等)

第 5 条 条例第 7 条第 1 項の観覧料は、観覧券(様式第 1 号)の発行により徴収する。

2 教育委員会が特に必要と認めるときは、前項の観覧券に代えて別の様式を定め、これにより観覧料を徴収することができる。

(観覧料の減免)

第 6 条 条例第 7 条第 2 項第 1 号の規定に該当する者は、観覧料の 5 割に相当する額を免除するものとする。

2 条例第7条第2項第2号の規定に該当する者及びその免除の割合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 市内に居住する又は市内の学校等に通学等をする条例別表備考第2号に規定する小人で土曜日に入館するもの 10割
- (2) 教育上の目的のために、園児、児童、生徒又は学生を引率して入館する学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校の教職員 10割
- (3) 教育上の目的のために、児童を引率して入館する児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業に従事する職員 10割
- (4) 教育上の目的のために、幼児又は児童を引率して入館する児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する児童福祉施設の職員 10割
- (5) 公の目的で入館する国、地方公共団体その他公共団体又は公共的団体の職員 10割
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める者 市長が別に定める割合(優待券等)

第7条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。(館外貸出し)

第8条 博物館が所蔵する条例第1条に規定する資料(以下「資料」という。)の館外貸出しを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した館外貸出許可申請書を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

- (1) 申請者(代表者)の住所及び氏名
- (2) 借用資料の名称
- (3) 借用目的
- (4) 借用期間

2 教育委員会は、前項の館外貸出許可申請書の提出を受けた場合において、当該申請者が次の各号のいずれかに該当し、かつ、当該館外貸出しが博物館の業務に支障がないと認めるときは、必要な条件を付して前項の許可をすることができる。

- (1) 博物館法(昭和26年法律第285号)第10条の規定による登録を受け、又は同法第29条の規定による指定を受けた施設
- (2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認めるもの

3 教育委員会は、第1項の許可をしたときは、館外貸出許可書(様式第2号)を当該申請者に交付するものとする。

4 第1項の許可の期間は、3月を超えることができない。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(館外貸出しの許可の取消し)

第9条 教育委員会は、前条第1項の許可を受けた者が虚偽の申請により許可を受けたとき、又は同条第2項の条件若しくは教育委員会の指示に従わないときは、その許可を取り消すことができる。

(資料の撮影等)

第10条 博物館が所蔵する資料の撮影等の行為をしようとする者は、次に掲げる事項を記載した資料等撮影許可申請書を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、教育委員会がその申請を不要と認めた場合は、この限りでない。

- (1) 申請者(代表者)の住所及び氏名
- (2) 撮影資料の名称
- (3) 撮影目的

2 教育委員会は、前項の許可をしたときは、資料等撮影許可書(様式第3号)を当該申請者に交付するものとする。

(寄贈)

第11条 博物館に資料を寄贈しようとする者は、次に掲げる事項を記載した資料等寄贈申請書を教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、教育委員会がその申請を不要と認めた場合は、この限りでない。

- (1) 申請者(代表者)の住所及び氏名
- (2) 資料の名称及び点数

2 教育委員会は、前項の規定により寄贈を承認した資料の引渡しを受けたときは、資料受領書(様式第4号)を当該寄贈をした者に交付するものとする。

(損害の賠償)

第12条 博物館の施設又はその附属設備、備品、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、教育委員会の指示するところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第13条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

様式第1号 (第5条関係)

観覧券

歴史に憩う橿原市博物館 観覧券 No.	歴史に憩う橿原市博物館 観覧券 No.
---------------------------	---------------------------

歴史に憩う橿原市博物館

観覧券

年 月 日

区 分	観覧人数	観覧料	金額
大 人	人	円	円
学 生	人	円	円
小 人	人	円	円
教職員等引率者	人		
観覧人数合計	人	観覧料合計	円

所在地

団体名

代表者

様

上記の観覧料合計金額を領収しました。

領収日付印

様式第2号 (第8条関係)

第 号

年 月 日

資料等館外貸出し許可書

様

檀原市教育委員会教育長 印

年 月 日付で申請のあった資料等館外貸出しについては、次のとおり許可する。

品目	点数	備考
貸出しの場所		
期間		
許可条件		

様式第3号（第10条関係）

第 号

年 月 日

資料等撮影許可書

様

檀原市教育委員会教育長 印

年 月 日付けで申請のあった資料撮影等については、次のとおり許可する。

利用目的			
利用期間			
利用場所			
利用資料	資料名	数量	備考
許可条件			
備考			

様式第4号（第11条関係）

第 号

年 月 日

資料等受領書

様

檀原市教育委員会

教育長 印

あなたから歴史に憩う檀原市博物館へ寄贈された下記の資料等を受領しました。

品目	点数	期間	備考
その他			

歴史に憩う橿原市博物館 館報1 平成26年度

編集・発行 歴史に憩う橿原市博物館

2016（平成28）年2月5日